

防災



小学校高学年

中学校

道徳

学級活動

明日へ 再起への記録

48分

ガレキの町の小さな一歩 ～岩手・大槌小学校6年生～

(2011年放送)

この番組の良さ



前向きに生きる子どもたち

津波で大きな被害を受けた岩手県の大槌小学校。大槌小学校は、隣町の小学校と一緒に避難所に間借りするという形で、学び舎を再開しました。しかし、その道のりは簡単ではありません。番組では、震災で友達や家族を失い、多くのクラスメイトが町外に転校していく中で、お互いを思いやり支え合いながら、新しい一歩を踏み出していく子どもたちの姿を追います。

被災地の子どもたちから学ぶこと

母親を亡くした6年生の千代ちゃんとお父さん、お互いに支え合うクラスメイトの姿などから、普段あまり意識することのない友達への思いやりや家族の絆について、強く感じ、深く考えていくことができます。自分と同世代の子どもたちの境遇を自分と比べ、共感することで、自分自身の生き方や考え方を見つめ直すことができます。

番組活用のポイント

震災から友達や家族を見つめ直す

東北地方を襲った千年に一度といわれる未曾有の大震災。日本各地で、防災に対してだけではなく、人と人の結びつきや支え合いなどについて改めて考えるきっかけとなりました。

震災で友達や家族、学校や家を失った大槌小学校の子どもたちは、一見、明るく元気に過ごしているように見えますが、笑顔の裏で人知れず小さな胸を痛めていました。ガレキと化した町の中で、必死に現実と向き合い、強く生きていきます。そんな子どもたちの姿から、友達の大切さや家族の絆と結びつきの強さを再認識し、人を思いやる気持ちや家族を大切にしようとする心情を高めていくことができます。

千代ちゃんに共感しながら

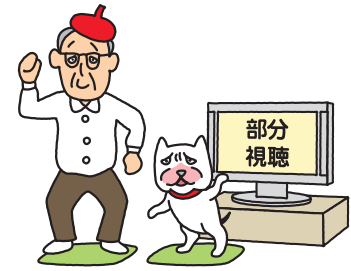
番組では、ガレキと化した町や廃墟となった学校、チームメイトを亡くしたサッカークラブの少年、次々に転校していくクラスメイトなど、震災によって不自由な生活を余儀なくされ、心にダメージを負う子の姿がたくさん取り上げられています。その中でも、母親を亡くした6年生の千代ちゃんに共感しながら視聴し、友達や家族の絆について考えていくとよいでしょう。

より深く考えるために

震災を通して、子どもたちはどのようなことを考え、どのようなことを感じたのでしょうか。心に傷を負いながらも前向きに生きている子どもたちの姿から、友達への思いや家族の絆についてさらに深く考えるために、ティーチャーズ・ライブラリーの関連番組『子どもたちが綴った大震災』（P.36）も併せて活用するとよいでしょう。本番組が半年間追い続けてきた千代ちゃんが、自分の思いを力強く綴った作文の他、震災を経験した子どもたちが綴った作文が紹介されています。

学習展開例 授業時間 45分

被災地の新しい一歩から 友達や家族との絆を見直そう



時間配分	学習活動	教師の支援
10分	① 友達や家族について、日頃感謝していることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○「友達や家族がいることに感謝することがありますか?」と問い、友達や家族などの身近な人に対して、日頃感謝していることを語り合い、本時のテーマへの方向付けをする。 ○友達や家族がいることが当たり前であり、あまり意識していないことに気づくことができるように板書していく。 ○事前に、東日本大震災を記録した写真集を紹介するなどして、震災の様子や被災地の暮らしなどについて触れておくようにする。
25分	② 番組を視聴しながら考える。 <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div>  <p>視聴 ・年度当初、「きずな」の3文字に合わせて「折り句」でクラスの目標を考える子どもたち</p> </div> <div>  <p>・宝物は何かという問いに対して、「パパ」と答える千代ちゃん</p> </div> <div>  <p>・母親が行方不明の千代ちゃんのことを気にかけているクラスメイト</p> </div> <div>  <p>・バッテリーボックスに立つ千代ちゃんに「頑張れよ」とさりげなく声をかけるクラスメイトたち</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○友達や家族の支え合い・絆に絞って考えを深めていくために、番組の前半部分のみ視聴する。(3分26秒～23分2秒) ○番組に集中できるように、途中で一時停止せずに視聴し、メモは取らないように指示する。 ○宝物は何かという問いに対して、「パパ」と答える千代ちゃんや、千代ちゃんのことを気にかけるサッカークラブの少年、さりげなく千代ちゃんを励ますクラスメイトなどの姿から、友達や家族に焦点化していきたい。 ○視聴後に感想を書く際、番組をふり返ることができるように、千代ちゃんやクラスメイトの様子や言葉などを、場面ごとに板書し整理していく。(番組を場面ごとにキャプチャした画像が用意できれば印刷し、順に黒板に掲示していくとよい)
10分	③ 友達や家族について考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○番組を通して「友達や家族」について考えたことをワークシートに書き、静かに自分自身と向き合う時間とする。 ○時間があれば発表させたり、学級通信などに掲載して紹介したりする。

コラム より主題に迫るために

本番組は48分の番組であるため、授業の時間内では、全編視聴することができません。子どもたちの実態や反応に応じて、別の時間に続きを視聴するとよいでしょう。お父さんの作ったお弁当を千代ちゃんが食べる場面や、小さい頃から千代ちゃんずっと仲良かった咲ちゃんとのお別れの場面、新学期を迎えるクラスメイトの笑顔などから、さらに主題に迫ることができるでしょう。

また、本番組の活用にあたって、多数出版されている震災を扱った写真集などの本をあらかじめ準備しておくことをおすすめします。